

第82回 AI活用は、いつでも、だれでも、タダで・・・PART6

今年に入ってから、ChatGPT、Geminiといった生成AIの進化速度の加速は戦慄するほどであり、私も自分の存在価値がどうなるかおびえています(・_・;)。

皆様にも体感していただくための、例を紹介しましょう。無料版で構いませんので、皆様もこれに倣って、使ってみることをお勧めいたします。

まず次のようなプロンプトを考え、AIに入力します。

プロンプト(指令文):「北日本の人口〇万人ほどの町にある障がい者就労支援事業所です。現在まで、(利用者、職員、施設などの状況を入力)によって、パンの製造販売を行ってきており、平均工賃は月〇〇円ほどです。しかし町の人口減少や、材料費高騰による利益率低下から、現状の工賃を支払うのが難しくなっています。そこで、今まで経験のない、〇〇〇の事業を開始し、利用者の〇割程度をその事業にシフトして、これにより、事業所全体の工賃を1.3倍にアップしたいと考えています。

この考えを具体的な計画とし、その実現可能性を評価するために、必要な要素を5つ以上、教えて下さい。」

するとAIは、検討が必要な要素を5つ挙げてくれるでしょう。それらについて、考えを追加プロンプトとして入力します。

プロンプト:「主要ターゲットは、町内の住民と、夏場の観光客を想定します。〇〇〇の技術者は、近接する市町村から月給〇〇円ほどで期間雇用します。町内と近隣のライバルは・・・」

その上で、

プロンプト:「この計画を役員会に説明したときに、想定される質問、意見、反論などを、出る可能性の高いものから順に4つ(A1~A4)、厳しいものから順に5つ(B1~B5)挙げて下さい。」

プロンプト:「B2の質問に対する、私からの回答を考えて下さい。」

プロンプト:「この計画を職員に説明するためのスピーチを、①情に訴えるもの、②理詰めのもの、③損得勘定に訴えるもの、の3パターン、作って下さい。」

プロンプト:「①と②の間のような内容のスピーチで、もっと短いものを作って下さい。」

プロンプト:「この計画をモデルとした、心温まる短編小説を書いて下さい。」

プロンプト:「この計画の事業につき、商工会に支援を依頼する文面を作って下さい。」

などなど、順を追って、頼んでみます。

以前にも似たようなことを試みられた方も、最近のAIの進歩に驚愕されるでしょう。